

ルート《JR備中高松駅》



かづが はなちくいてあと
蛙ヶ鼻築堤跡
（国指定史跡）

G-2
・高松城跡は天正10年（1582）中国の役の主戦場となった城跡で羽柴（後に豊臣）秀吉による水攻めで有名であり、水攻め築堤跡は、高松後の歴史を語り、当時の様子を知ることができる貴重な文化財です。

秀吉は高松城の攻略を、重砲黒田官兵衛の策を採用して水攻めにし、城地の南東約700mの山根（蛙ヶ鼻）から、西北西約1,500mの足守川上流まで約3kmの堤防を、わずか12日間で築いたと伝えられています。堤防の内側は約200haの人造湖となり、外側には部隊を布陣させ、城を逆封鎖してしまいました。

江戸時代の地誌類では、基底部幅24m、高さ8m、上幅12mの大堰堤と記録されています。近年の一部発掘調査によって基底部幅約22～24m（12～13間）ということが確認され、築堤に際して土留めなどに使われたと思われる木杭や、土俵・むしろ等が確認されました。（現地解説版（平成15年4月 岡山市教育委員会）より）

じろうて
自刃の跡

F-3
・妙玄寺の一角に、清水宗治が自刃した場所があり、その場所に供養塔が建立されています。妙玄寺は、高松知行所の旗本花房氏の菩提寺でした。天正10年（1582）6月4日に「浮き世をば 今こそ渡れ 武士の名を高松の 若に残して」と辞世を詠じて自刃した、高松城主清水宗治の至誠を後世に伝え、両軍の死者の霊を併せ弔うため、供養塔が建立されています。（現地解説版・岡山市の歴史みであるさ（岡山市遺跡調査団編集、昭和52年3月）より）

しょうじ
高松城址公園

F-3
・現在、本丸跡（こほりば こほりば）の首家と立われる墓石が、土盛りの上にあります。宗治自刃の後、秀吉は首実検をしたうえで、近くの持宝院へ手あつく葬り、この戦いに結末をつけました。明治になって、骨つぼは地元の人によって、本丸跡の現地に移され、さらに昭和32年これを整理して、コンクリート製の墓室にあらためて納めました。つぼの中には、宗治の頭骸骨のほか、割れた素焼さのさかずき片三個と、三つにわかれた短刀があって、断面C立ちあった人たちに大きな感動をあたえました。本丸の南約50mの道路沿いに、二の丸跡、さらにその南東の妙玄寺の位置に三の丸がありました。高松城は、周囲が沼地だったので、城への入口には、舟を並べて橋をかけた（舟橋）、押し出し式の橋をつくっていました。なお、本丸跡の現地形が前後内墳で古墳の地形を利用して築城されたものとする説がありました。最近の発掘調査の結果、古墳だったという見方は薄らいだようです。天正10年（1582年）、高松落城後は、宇喜多の重臣花房正成が高松城主として支配した時代があります。正成は、のち高松知行所領主となった花房職之の一族で、宇喜多直家父子に仕え、高松城攻めにも参加しています。彼は高松城南面から鼓山ふもとを流れる板倉川をせき止めることを考えたと伝えられています。戦の後、6000石を増加されて高松城主となりました。のちの宇喜多家のうちむもめに川川氏らとともにかがわって、正成も岡山を去り、益田長盛にあずけられました。正成が高松城主であった頃、城郭整備工事を行っていたことが最近の発掘調査によって判明し、基礎工事用の捨石が発見され、その中には石仏や五輪塔などもまじっていました。正成以後は廃城となっています。

この城跡は、吉備史跡興立自然公園の一角を占めており、本丸跡と水攻め築堤跡は国指定史跡ともなっており、歴史を学びながらうらおいと憩いのある歴史公園として市民に親しまれています。（岡山市の歴史みであるさ（岡山市遺跡調査団編集、昭和52年3月）・岡山市景観資源基礎調査報告書（岡山市文化的都市づくりチーム編集、昭和59年3月）・高松城址公園資料（岡山市・高松城址保具会事務局）より）

くびつが
自家

F-3
・高松城主清水宗治の首塚です。明治43年（1910）石井山持宝院境内より、本丸跡に移されました。記録によると秀吉首実検の後、持宝院境内に「鐘の塔を建て手厚く葬ると記されています。移転当時の記録によると橋（龜山院）の中には横刀の三つにおれたもの、無数の骨片、素焼さの酒盃を見ることができました。盛土の上の五輪塔前部に一体、後部に二体の地藏尊が刻まれています。前部が宗治公・後部の二体は月満入道と末信僧侶と伝えられています。（歴史探素ワーク《足守支所資料、平成10年8月）より）

たけ
高松城水攻め水取
入れ口遺跡

C-5
・天正10年（1582）頃の高松城付近の地形は、東と北に山を背負い、南は高梁川東流の後を残した自然堤防があって少し高く、西は足守川に面かって少しすずく高くなっており、ちょうど雷ヶ鉢状の形をしていたように思われます。そうして、城の周りは深い沼で囲まれた要害堅固な城でした。太閤記に「数月を送りて打ち囲み攻め候も、力攻めなど思い絶えた要害なり。」とあります。秀吉は力攻めでは不可能とみて軍議の結果、黒田官兵衛の献策した水攻めを決行することに決めました。早速築堤工事に取り掛かり、わずか12日間で完成したと言い伝えられています。折からの大雨、足守川土合橋付近を堰止めて堤の中に流れ込ませたと伝えられています。築堤工事奉行は、宇喜多家の家臣千原九右衛門といわれ、足守川堰止め工事奉行は、吉田六郎大夫長利（高松城物語）とあります。ちなみに、江戸時代郷土の地理学者であり歴史学者でもあった吉川古松軒は、寛政3年（1791）絵図に、「この堤防の痕跡は無く蛙ヶ鼻付近を堰止めている。」としています。（「高松地区地域振興事業 まほろばの里“高松”歴史と花の見える風景事業完成式」（高松地区地域振興事業実行委員会）資料より）

たけ
高松城水攻め水取
入れ口遺跡

ルート《JR足守駅》

たけ
高松城水攻め水取
入れ口遺跡

たけ
高松城水攻め水取
入れ口遺跡

ブルート《JR足守駅》

たけ
高松城水攻め水取
入れ口遺跡

たけ
高松城水攻め水取
入れ口遺跡

たけ
高松城水攻め水取
入れ口遺跡

たけ
高松城水攻め水取
入れ口遺跡

たけ
高松城水攻め水取
入れ口遺跡

たけ
高松城水攻め水取
入れ口遺跡

C-9
・誓守八幡神社の鳥居は安芸の宮島の大鳥居と同様に、明神鳥居の柱の基部に稚児柱を拝う局部鳥居であり、石鳥居のこの形式のものはめずらしいものです。花崗岩製で、高さ4.3m、柱の心々間3.4mを測り、柱が太く、低めざみに見える時代的特徴を示しています。向かって右側の柱の内側に「康安元年10月2日嗣主神主貞陽重人（中央）大工 沙弥妙向（右）、祝主僧頼進（左）」の刻銘があり、1361年（南北朝時代）の造立と判明しています。大工の「妙阿」は、この鳥居より15年前に建立した鼓神社本堂（国指定重要文化財上高田所在）の石大工と同一人物であり注目されています。この鳥居は、在銘の石鳥居としては最古の部類に属し、この時代のほぼ完全な姿を伝える全国的にも貴重なものです。（現地解説版（平成22年3月 岡山市教育委員会）より）

あしもりはなちくいてあと
鞆守八幡宮

C-10
・足守藩の総鎮守で、祭神は応神天皇ほか。「日本書紀」に、応神天皇の立寄地（行宮）として「葉田の葦」がみえ、注目されています。神社は、そこまで遡るとは思えません。が、平安時代末の「足守荘絵図」には、前身らしい八幡柱が描かれています。戦国時代には別の山に移されたとも伝わりますが、宝永3年（1706）には、ここで本殿の建設が行われています。その本殿は幕末に焼け、明治3年（1867）に再建、現在に至っています。御神体の青銅鏡（木瀬浄阿弥内裏）は、慶長12年（1607）作、足守藩主の木下家が寄進したもので、岡山県重要文化財に指定されています。また、社殿絵馬の内に「足守荘絵図」の写しがあります。実物は、京都の神護寺蔵の国宝に、社に院は、在地豪族の賀陽氏によって運営されていたものが、平安時代に荘、さらにに神護寺に寄進されたもので、南北朝時代に至っています。絵図は嘉応元年（1169）作成で、荘圍の範囲や地割り、寺や集落の配置が細かく描かれています。足守の地は、この絵図の実体を伝える寄進地系荘圍の遺構として、全国的に注目されています。（現地解説版（平成4年3月 岡山市教育委員会）より）

あしもりはなちくいてあと
鞆守八幡宮

あしもりはなちくいてあと
鞆守八幡宮

あしもりはなちくいてあと
鞆守八幡宮

あしもりはなちくいてあと
鞆守八幡宮

あしもりはなちくいてあと
鞆守八幡宮

あしもりはなちくいてあと
鞆守八幡宮

あしもりはなちくいてあと
鞆守八幡宮

あしもりはなちくいてあと
鞆守八幡宮

あしもりはなちくいてあと
鞆守八幡宮

あしもりはなちくいてあと
鞆守八幡宮

あしもりはなちくいてあと
鞆守八幡宮

あしもりはなちくいてあと
鞆守八幡宮

C-11
・緒方洪庵（1810～1863年）は、江戸時代後期の蘭学者、教育者。文化7年（1810）、備中足守藩士佐伯惟因の三男として、この地で生まれる。15歳の時、大坂の蘭学医、中環（天治）の門に入って蘭学をはじめ、文政13年（1830）、江戸に下り坪井権道の蘭学塾に入りた。また、天保7年（1836）には長崎に遊学し、オランダ館館長らから医学や西洋事情について学びました。洪庵29歳の時、医業の傍ら蘭塾「通達斎塾（塾塾）」を大阪に開き、福沢諭吉、木村益次郎、佐野常民、根本左内ら多くの門弟を育てました。また、洪庵はオランダ人によって伝えられた痘瘡に成功しました。そして、嘉永3年（1850）には足守藩主木下利蔭の招きに応じて、足守の除痘瘡種痘を施しました。近隣を含めて約5000人に及んだと伝えられています。緒方洪庵には「扶氏経緯通訓」や「南学通論」など翻訳、著述が多数あり、近代医学への貢献は計り知れません。この生家跡は、面積686㎡、中央に顕彰碑が建っています。この顕彰碑下には洪庵の顔の縮、元暦の時の遺物が埋められているということです。（現地解説版（平成26年3月 岡山市教育委員会）より）

あしもりはなちくいてあと
旧足守藩侍屋敷遺構
（岡山県指定重要文化財）

B-11
・この侍屋敷は、江戸時代に備中国（現在の岡山県西半）の南東部で、2万5千石を領有する足守藩の国家老を務めた杉原家の邸宅です。家老屋敷のたすまいをほぼ完全に近い形で伝えていて、この種の武家屋敷としては国内唯一の貴重なものです。

足守陣屋町の下駄門から藩主の屋形構までの、主要な道筋である本町通に面して屋敷を構えています。表門の長屋門の内側に、桁行（正面左右の長さ）の長い母屋が町割の方向に沿って建ち、母屋の裏手には内蔵と湯殿が隣って設けてあり、内蔵へは廊下がつながり、またお屋の左手（東）脇に米蔵の土蔵を一棟設けています。

この侍屋敷は家老家の後裔杉原隆二氏がお住みでしたが、昭和48年に岡山市へ寄付されました。昭和48年12月から昭和50年3月までの工期をかけて、復元保存修理を施して文化財の公開を行いました。【休館日：月曜（祝日の場合は直後の平日）、祝日の翌日、年末年始】（現地パンフレット（岡山市教育委員会）より）

あみずえん
近水園
（岡山県指定名勝）

B-11
・旧足守藩主木下家の庭園として江戸時代中頃までに作庭された小堀遠州流の池泉回遊式庭園です。足守藩は2万5千石の小藩ではあるが、宮地山の南麓に陣屋・会所などの藩の中核施設とともに大名庭園としてこの近水園が配されています。本園は池を中心として簡素な設計がなされているが、池には鶴島・亀島が浮かんでいます。亀島には、亀頭石・中心石・脚石・亀尾石などが、その名のとおり配されています。

池に面して建つ吟風閣は、六代目藩主金定が宝永5年（1708）、京都御所（仙洞御所）を造営したときにその残材をもって建てたといわれます。池に乗り出すように建てられた木造二階建てで、今は銅板葺きである元は草葺きでした。数寄屋造りの華奢なたすまいが水面に影を落とす、情緒をそえています。（現地解説版（平成22年3月 岡山市教育委員会）より）

あみずえん
近水園

あみずえん
近水園

あみずえん
近水園

あみずえん
近水園

あみずえん
近水園

ブルート《大井ゾーン》

あみずえん
近水園

あみずえん
近水園

あみずえん
近水園

やくいしんじや
矢喰神社

やくいしんじや
矢喰神社

やくいしんじや
矢喰神社

やくいしんじや
矢喰神社

岡山市には、温暖な気候に育まれた自然が多く残り、吉備の国のもたらした古代の歴史の資源をはじめとする数々の歴史的、文化的遺産も多く、四季折々の風物も豊かです。しかし、車社会と呼ばれる今日では歩くことが少なくなり、これらの貴重な資源に触れる機会が減少し、歩くという健康的な活動から遠のいていくといえます。このような状況を改善するため、岡山市では環境にやさしいまちづくりを進める一環として、ふるさと岡山をゆくり歩き、身近な自然とのふれあいの場を提供する遊歩道の展開へ向けて「岡山市遊歩道ネットワーク（てくてくロード）」を策定しました。遊歩道ネットワークが広く市民に活用される、ふるさと意識の醸成、歴史文化財への理解、さらに健康づくりに貢献することを願っております。

やくいしんじや
矢喰神社

ルート内の主な公共施設

J R備中高松駅……………TEL086-287-2036 高松郵便局……………TEL086-287-2300 中鉄バス(株)……………TEL086-222-6601 岡山西警察署……………TEL086-254-0110 高松地域センター……………TEL086-287-3731 高松文庫……………TEL086-287-2053 足守地域センター……………TEL086-295-1111 足守駐在所……………TEL086-295-0104 高松公民館……………TEL086-287-2057 大井駐在所……………TEL086-295-0289 足守公民館……………TEL086-295-1942 足守図書館……………TEL086-295-1842 近水園(管理事務所)……………TEL086-295-0981 旧足守藩侍屋敷……………TEL086-295-0983 足守プラザ……………TEL086-295-0001 足守郵便局……………TEL086-295-0300

J R備中高松駅……………TEL086-287-2036 高松郵便局……………TEL086-287-2300 中鉄バス(株)……………TEL086-222-6601 岡山西警察署……………TEL086-254-0110 高松地域センター……………TEL086-287-3731 高松文庫……………TEL086-287-2053 足守地域センター……………TEL086-295-1111 足守駐在所……………TEL086-295-0104 高松公民館……………TEL086-287-2057 大井駐在所……………TEL086-295-0289 足守公民館……………TEL086-295-1942 足守図書館……………TEL086-295-1842 近水園(管理事務所)……………TEL086-295-0981 旧足守藩侍屋敷……………TEL086-295-0983 足守プラザ……………TEL086-295-0001 足守郵便局……………TEL086-295-0300

岡山
岡山

岡山
岡山

岡山
岡山

岡山
岡山

岡山
岡山

岡山
岡山

岡山
岡山

岡山
岡山

岡山
岡山

岡山
岡山

岡山
岡山

岡山
岡山

岡山
岡山

岡山
岡山

岡山
岡山

岡山
岡山

岡山
岡山

岡山
岡山

岡山
岡山

岡山
岡山

岡山
岡山

岡山
岡山

岡山
岡山

岡山
岡山

岡山
岡山

岡山
岡山

岡山
岡山

岡山
岡山

岡山
岡山

岡山
岡山

岡山
岡山

岡山
岡山

岡山
岡山

岡山
岡山

岡山
岡山

岡山
岡山

岡山
岡山

岡山
岡山

岡山
岡山

岡山
岡山

岡山
岡山

岡山
岡山

岡山
岡山

岡山
岡山

岡山
岡山

岡山
岡山